

2014年12月16日
愛知製鋼株式会社

水素社会の実現に向け、

高圧水素用ステンレス鋼“AUS316L-H2”の高強度仕様を商品化

～ トヨタ燃料電池車“MIRAI”の高圧水素系部品向けに供給開始 ～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、この度、トヨタ自動車が発売する燃料電池車“MIRAI”の高圧水素系部品に高圧水素用ステンレス鋼“AUS316L-H2”の供給を開始した。

今回供給を開始したのは、昨年11月に発表した“AUS316L-H2”に冷間加工を加えて高強度化を図った鋼材であり、高圧水素系のいくつかの部品に適用されている。

本鋼種は、JIS規格のSUS316およびSUS316L相当鋼であるとともに、独自の成分設計により、高圧水素ガス環境において高い延性を示すことを特長としており、燃料電池車、水素ステーションにおける高圧水素用部品および機器の安全性、信頼性の向上に貢献できる。

“AUS316L-H2”は、昨年の発表以降、既に、水素ステーションに係る複数の高圧水素用機器メーカーに採用されており、今回、トヨタ自動車の燃料電池車“MIRAI”に、その高強度仕様も採用されたことで、供給体制を固め、鋼材メーカーとして水素社会の実現に貢献していきたい。

以上

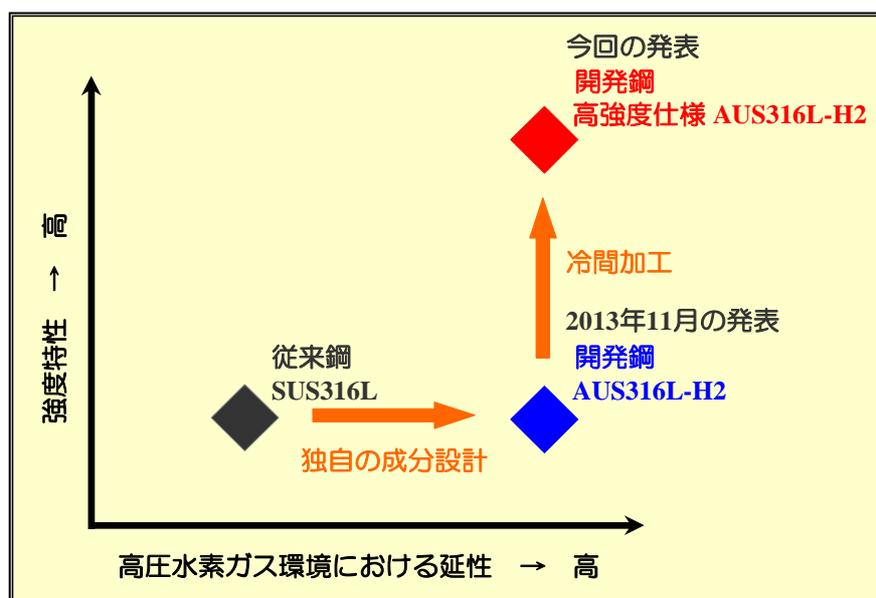


図 “AUS316L-H2” の位置付け